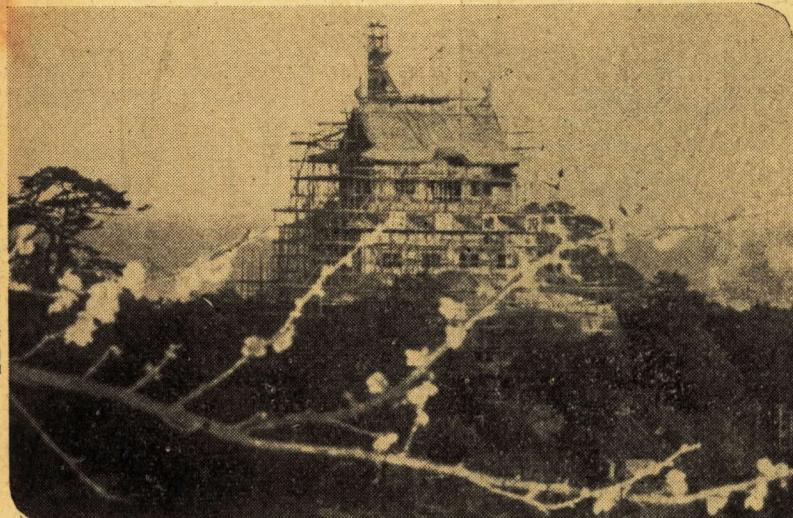


【写真は完成を急ぐ小田原城天守閣】



送・配水管を兼用 完成後の給水人口は十三万人

上水道第二期拡張工事の起工式区まで延長し、給水を開始するな

は、さる二月一日、第三水源建設と水源の確保と需用の増大に努め

地の成田一、〇七八番地先で、厚

生省水道課長、県議会議員、市長

、市議会議員、地元関係者など約

百名が出席して行なわれました。

市では、昭和二十五年度から同

三十二年度までの第一期拡張工事

において、第二水源及び久野配水

池を新設し、給水人口を二万人か

ら五万九千人に、給水量(一日)

三千立方メートルから一万一千

五万九千人に対し、すでに

五千三千人に達したうえ、さらに

工場、住宅等の適地として近年い

ちじるしく発展しつつある酒匂川

在の給水能力も近いうちに限界に

達することが明らかになりました。

そこで市では、給水人口十三万

人、給水量(一日)三万九千立方

メートルを目標として、本年度か

ら五五年間にわたり、総工費約四

億二千万円で第二期拡張工事を進

めることになり、このほど第三水

源地の建設工事に着手したのであ

ります。

水源地から直接各戸に給水し、使

用量の少ない夜間は配水池に送水

して、満水になつたときポンプを

にわたつて敷設し、これを送水や

配水にも利用できるよう設計され

ております。

すなわち、使用量の多い昼間は

水源地から直接各戸に給水し、使

用量の少ない夜間は配水池に送水

して、満水になつたときポンプを

止めれば、自然に又各戸に給水さ

れるわけで、これにより約一億円

以上の工事費や電力費、器材の消

耗費等が節約され極めて効率的な

万五千メートル(内径五百一七十

給水区域に編入される予定です。

給配水を行なうことになります。

五ミリ)に達しますが、この工事

の完成により下府中、上府中、豊

川、下曾我等の川東地区が新たに

舎の延床面積は八一七・六〇九・五

方メートルから一、六〇九・五

一平方メートルとなります。

また建設費は一千五百六十万円

以内(公团負担分一千三百四十

万円以内)から三千百四十万円

以内(公团負担分二千九百二十

万円以内)に改められます。

また建設費は一千五百六十万円

以内(公团負担分一千三百四十

万円以内)に改められます。

</

